

---

TOMIOKA  
世界遺産会議  
BOOKLET



上毛新聞社

---

## 目 次

### 「維新後の富岡製糸場の政治史的意味

#### — 富国強兵と殖産興業をどう見るか —

5

政治学者・東京大学先端科学技術研究センター客員教授 御厨 貴

政治史的な視点から／堅牢で偉容を誇った富岡製糸場／異例づくめ、トラブルなしにスタートした富岡製糸場／体をなしていない政府から生まれた富岡製糸場の不思議／富岡製糸場が、政府が始めた人材育成の原点／ビジュアルで見せる文明開化と明治人の気概／「内なるフロンティア」による成功／西洋諸国の目を意識した日本の近代化／二項対立では見えない明治と富岡製糸場／研究の余地がある富岡製糸場の位置づけと評価／〈質疑応答〉

### 「江戸時代の養蚕生糸と地域の文化」

43

群馬大学名誉教授 落合延高

はじめに／生活世界の変化／上州の養蚕生糸／読書と文化イベントなど地域文化の隆盛／養蚕のフォークロア—新田猫絵／おわりに

### TOMIOKA 世界遺産会議 プログラム

67

### 創刊にあたって

68

---